

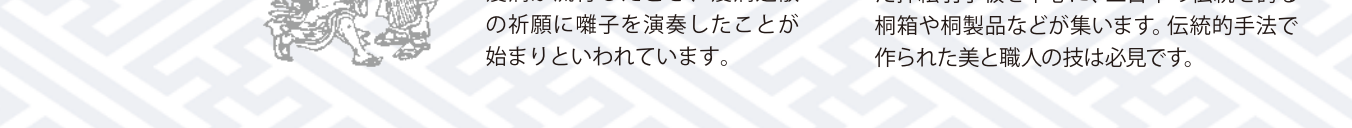


春日部のイベント

お祭り好きが一堂に会する
▲【春日部夏まつり】
7月13日に最も近い土・日曜日／春日部駅東口周辺など
「春日部夏まつり」は、ふるさと春日部の夏を彩る大イベント。各町内から御輿20数基が繰り出し、街を練り歩きます。人出もざっと20万人以上。春日部が最も熱くなる2日間です。

▲【赤沼の獅子舞】
(市指定無形民俗文化財)
7月15日と10月19日に近い日曜日／赤沼神社
神社の境内の4本の笹竹を立て、注連縄を巡らした中にむしろを16枚敷き、その上で獅子舞が神社に奉納されます。

▲【西金野井の獅子舞】
(県指定無形民俗文化財)
7月の海の日に近い日曜日／西金野井香取神社
悪魔払いや五穀豊穡、雨乞いの祈願として演じられており、午前から夕方までの長時間にわたって獅子舞が繰り広げられます。



春日部の特産品
脈々と受け継がれる匠の技
古くから麦の集散地として知られてきた春日部。農家の副業だった麦わら真田を改良、工夫し、明治30年ごろから現在のような麦わら帽子になったとか。今では帽子のほかに、バッグや小物入れなど、バラエティ豊かな製品が作られています。

麦わら製品
押絵羽子板
押絵羽子板は、戦後、東京から良質の桐を求めて移り住んだ職人と春日部の桐との出会いによって生まれたもの。江戸時代の浮世絵をほうつさせるその姿は、ひとつの芸術品として高い評価を受けています。

桐箱
桐たんす
春日部の桐たんすづくりは、江戸時代、日光東照宮造営に加わった工匠たちが桐の産地だった春日部に移り住んで生産を始めたのがはじまりといわれています。昭和54年に国から「伝統的工芸品」の指定を受けています。

春日部歳時記
※日程は変更となる場合がございます。

どんと焼き	1月15日 春日部八幡神社	春日部夏まつり	7月13日に最も近い土・日曜日 春日部駅東口周辺など
銚子口の獅子舞	1月23日・7月15日・10月23日に近い日曜日 銚子口香取神社	やったり踊り	7月15日に近い土曜日 大畑香取神社
初午大祭	3月 第1日曜日 備後須賀稻荷神社	西金野井の獅子舞	7月の海の日に近い日曜日 西金野井香取神社
子育て呑龍花祭り	4月 第1日曜日 圓福寺	赤沼の獅子舞	7月15日と10月19日に近い日曜日 赤沼神社
不動院野の神楽	4月15日に近い日曜日 大杉神社	倉常の神楽囃子	7月24日に近い日曜日 倉常神社
牛島の藤 開園	4月下旬 藤花園	春日部大風花火大会	8月下旬の土曜日 レジデンシャルパークSHOWA (庄和総合公園)
春日部藤まつり	4月下旬の日曜日 春日部西口ふじ通り	榎の囃子神楽	10月15日 富多神社
春日部重行公祭	5月1日 最勝院	東中野の獅子舞	11月第3日曜日 東中野香取神社
春日部大風あげ祭り	5月3日・5日 江戸川河川敷 (宝珠花橋下流)	西の市	12月14日 粕壁神明社
春日部大風マラソン大会	5月4日 レジデンシャルパークSHOWA (庄和総合公園) 前スタート	かすかべ押絵羽子板と特産品まつり	12月下旬 春日部市役所



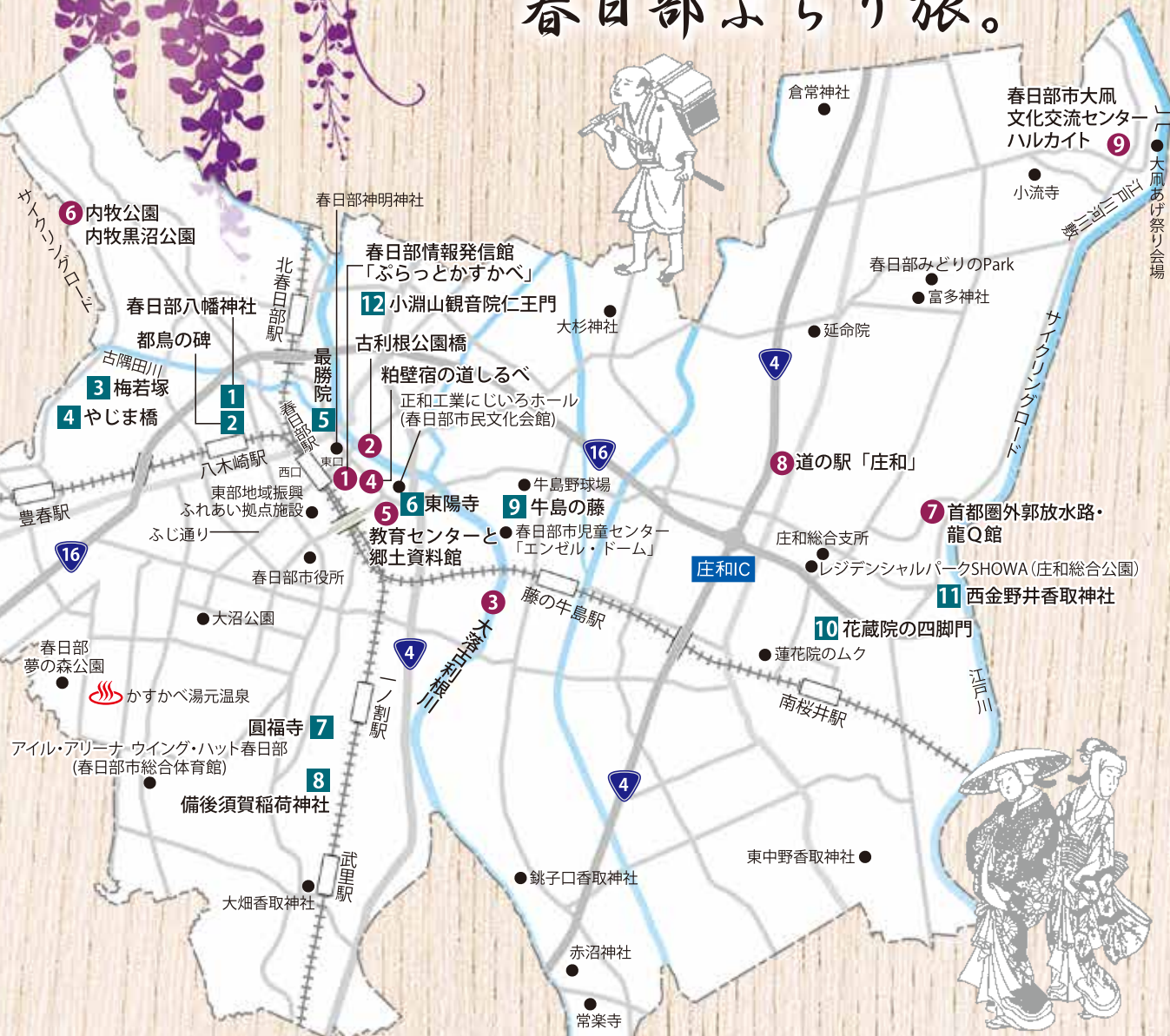
▲【春日部大風あげ祭り】
(国選択無形民俗文化財)
5月3日・5日／江戸川河川敷 (宝珠花橋下流)
その年に初節句を迎える子どもたちの健やかな成長を祈願して行われます。大風は、縦15m、横11mで重さは800kg。大きさは量100量分もあり、日本最大級の大さを誇っています。江戸時代後期から伝わる伝統的行事です。
※祭り当日は、臨時バスが利用できます。
※5月4日には、春日部大風マラソン大会も行われます。

※春日部市市制施行20周年を祝いあげられた大風です。
▲【春日部藤まつり】
4月下旬の日曜日／春日部駅西口ふじ通り
フジは春日部市の花として知られています。4月中旬から5月にかけて、ふじ通りが薄紫の花でいっぱいになります。藤まつりの日の通りには多くの模擬店が並び、流し踊りなど様々な催しが盛大に繰り広げられます。

▲【銚子口の獅子舞】
(市指定無形民俗文化財)
1月23日・7月15日・10月23日に近い日曜日／銚子口香取神社
「一人立三頭獅子」という形式で、「天狗の舞」や「出端の舞など」、勇壮な舞が特徴的です。家内安全・五穀豊穡・災難除去・天下泰平を祈願して、銚子口香取神社に奉納されます。

▲【不動院野の神楽】(市指定無形民俗文化財)
4月15日に近い日曜日／東不動院野大杉神社
江戸時代の末頃から演じられている行事。無病息災、悪魔退散、そして家内安全を祈願して行われます。

見どころいっぱい、春日部ぶらり旅。



◎春日部今昔物語

今から約7000年前、春日部は海だったなんて信じられますか。事実、花積貝塚などの遺跡からは、その当時の様子を物語る貝殻、土器、住居跡などが見つっています。その後、ゆっくりと海岸線が後退し、現在の地形となっていたのです。中世になると、紀氏の一族が土着し、地名の「春日部」を名字として名乗り、鎌倉将軍に仕えました。その後、折を経て、南北朝時代には、春日部重行が南朝方の部将として新田義貞とともに活躍し、延元元年（1336）、戦功により当地を治めていたと認められています。同年京都で亡くなっています。

春日部氏は、今の八幡公園付近に居館を築き、春日部八幡神社などを創建しました。その館跡からは、中国から輸入された高級陶磁器も見つかり、当時の繁栄を語っています。

江戸時代になると、春日部は日光道中第四の宿場として栄えます。文字も「粕壁宿」という字が使われます。ちょうどこの時代は、古利根川が江戸を結ぶ水路として重要な役割を果たして、春日部も米麦の集散地だったために街道もかなりの賑わいを見せたようです。

春日部市郷土資料館には、当時の推定模型があり、粕壁宿の様子や人々の暮らしに触れることができます。

昭和29年、春日部町・豊春村・武里村・幸松村・豊野村が合併し、平成17年には旧春日部市と旧武里町が合併し、新「春日部市」となり現在に至っています。

歴史にふれる 古き良き文化を残す 風情ある街並み



1 春日部八幡神社

元弘年間（1331～1334）頃、春日部氏が鎌倉鶴岡八幡宮を勧請して築いたという神社。昭和57年10月に鎮座650年祭が執行され、記念事業として、「新能」が奉納されました。それ以降、隔年で「新能」が実施されています。（最寄り駅・八木崎）

3 梅若塚

およそ千年前、人買いにさらわれ、古隅田川に投げ込まれてしまった貴族の子、梅若丸。謡曲「隅田川」で知られる梅若丸を葬ったと伝えられる小さな塚が、満蔵寺の入り口にあります。（最寄り駅・豊春）



4 やじま橋（市指定有形文化財）

石橋では、埼玉県内で現存する最も古いとされる「やじま橋」は、古隅田川に架かっていた橋で、粕壁から岩槻を結ぶ道の要。その頑丈なつくりは、二百数十年もの歴史の重みに耐えて来ました。現在は南中曽根に移築され、当時の形のまま保存されています。（最寄り駅・豊春）

5 最勝院

真言宗智山派の寺院で、華林山慈恩寺最勝院といいます。春日部市の地名にゆかりのある伝春日部重行公愼があり、明治時代には、粕壁小学校や春日部税務署などにも利用されていました。



6 東陽寺

元禄2年（1689年）「奥の細道」紀行で、松尾芭蕉は粕壁宿に一泊したとされています。東陽寺には、曾良（そら）「随行日記」の一文が刻まれた碑があります。松尾芭蕉が泊まった場所は、東陽寺のほかに小淵観音院など、諸説あります。



7 圓福寺

幼い頃から神童と呼ばれた呑龍は庶民の厄難を救い、自ら説法するかたわら、こどものために身を尽くした浄土宗の名僧です。圓福寺は「子育て呑龍」として崇拝された呑龍上人ゆかりの地で、同時には、市指定有形文化財の「木彫当麻曼陀羅図」等の仏教彫刻が安置されています。（最寄り駅・一ノ割）



8 備後須賀稲荷神社

王子稲荷、佐野稲荷とともに関東三社の一つに挙げられる備後須賀稲荷神社。備後の国から来たとされる本尊を祀っていることから備後という名がついたとか。3月第1日曜日の初午大祭には賑わいも一段と増します。（最寄り駅・武里）



10 花蔵院の四脚門（県指定有形文化財）

四脚門とは屋根を支える2本の本柱の他に、前後2本ずつ計2本ずつ計4本の柱があるところからこの名前がつけました。各所に施された装飾や彫刻の華麗な技法から、江戸時代中期の建造と推定されています。（最寄り駅・南桜井）



11 西金野井香取神社

古くは「梶取明神」と呼ばれ、舟運に携わる人々から信仰を集めていました。県指定有形文化財の本殿は「檜皮葺一間社流造」というヒノキ板の屋根が、ゆるやかな反りをもつことが特徴で、室町時代末期の建立と推定されています。（最寄り駅・南桜井）



12 小淵山観音院仁王門（市指定有形文化財）

小淵山観音院は、別名「イボとり観音」と呼ばれ、イボやコブ、アザをとるご利益のある観音信仰の霊場として親しまれてきました。同院では7体の円空仏を所有し、中でも蔵王権現立像は全国的にも希少な像です。聖観音菩薩立像は高さ194cmと県下最大の規模を誇っています。（円空仏は、現在埼玉県立歴史と民族の博物館に保管）（最寄り駅・北春日部）



9 牛島のフジ（国指定特別天然記念物）

明治のころ3mにもおよぶ花房を下げていたといわれ、国の特別天然記念物に指定されている牛島のフジ。伝説によると、弘法大師のお手植えとも。幹回りは4m以上、藤棚の面積は800㎡もある国内最大規模のフジです。4月下旬から花を付け、各地からの観光客の目を惹きつけてくれます。（最寄り駅・藤の牛島）

今を楽しむ 人とのものが行き交う 穏やかな街並み



1 春日部情報発信館「ぶらっとかすかべ」

市内の観光情報、市の特産品などの魅力的な情報を発信しています。館内には、クレヨンしんちゃんコーナーもあり、入館は無料です。レンタサイクル（電動アシスト付）もありますので、ぜひ、お立ち寄りください。
開 午前9時～午後4時30分 休 月曜日（祝日の場合は翌日以降の平日）
住 〒344-0061 埼玉県春日部市粕壁1-3-4（春日部駅東口徒歩3分）
☎ 048-752-9090



2 古利根公園橋

大落古利根川に架かる全長79mの古利根公園橋は、「光と風」をテーマとした、いわば水上公園。ブロンズ像などが設置され、散策に訪れる親子など、市民のやすぎの広場として親しまれています。日の入り後は、麦わら帽子をコンセプトとしたモニュメントがライトアップされるので、一味違った景観が楽しめます。

3 大落古利根川

かつては利根川の本流であった大落古利根川。遊歩道の整備が進み、多くの市民が散歩を楽しんでいます。春は桜、夏から秋にかけては豊かな水の流れ。冬の野鳥の群れなど、四季を通じて自然と親しむことができます。

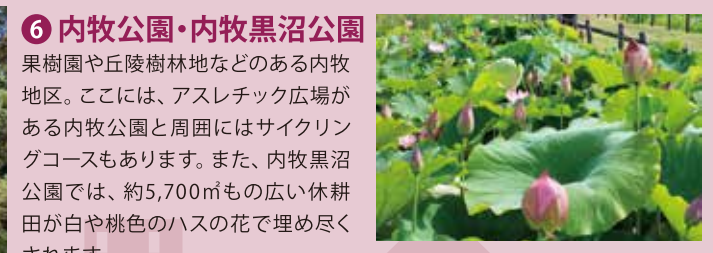
4 粕壁宿の道しるべ

春日部駅東口のかすかべ大通りは、旧日光道中の宿場町でした。道しるべには、「西南いひつき（岩槻）」などが刻銘されています。配電ボックスや商店のシャッターには、粕壁宿をイメージしたデザインが描かれています。



5 教育センターと郷土資料館

教育センターには、こどもの教育上の相談を受ける教育相談センターのほか、視聴覚センター、さらには縄文時代の住居や粕壁宿を復元した郷土資料館があります。



6 内牧公園・内牧黒沼公園

果樹園や丘陵樹林地などのある内牧地区。ここには、アスレチック広場がある内牧公園と周囲にはサイクリングコースもあります。また、内牧黒沼公園では、約5,700㎡もの広い休耕地が白や桃色のハスの花で埋め尽くされます。



7 首都圏外郭放水路・龍Q館

地底50mを流れる、世界最大級の地下放水路。地底探検ミュージアム「龍Q館」では地底の巨大施設や洪水、川などについて楽しく学べます。



〔写真提供〕国土交通省 関東地方整備局 江戸川河川事務所